



7 基幹的広域防災拠点の耐震強化岸壁の早期整備について

【提案・要望先】国土交通省

～提案・要望事項～

- 大規模災害発生時に多量の支援物資の輸送が可能となる耐震強化岸壁(-10m)を早期に整備すること。

【現状と課題】

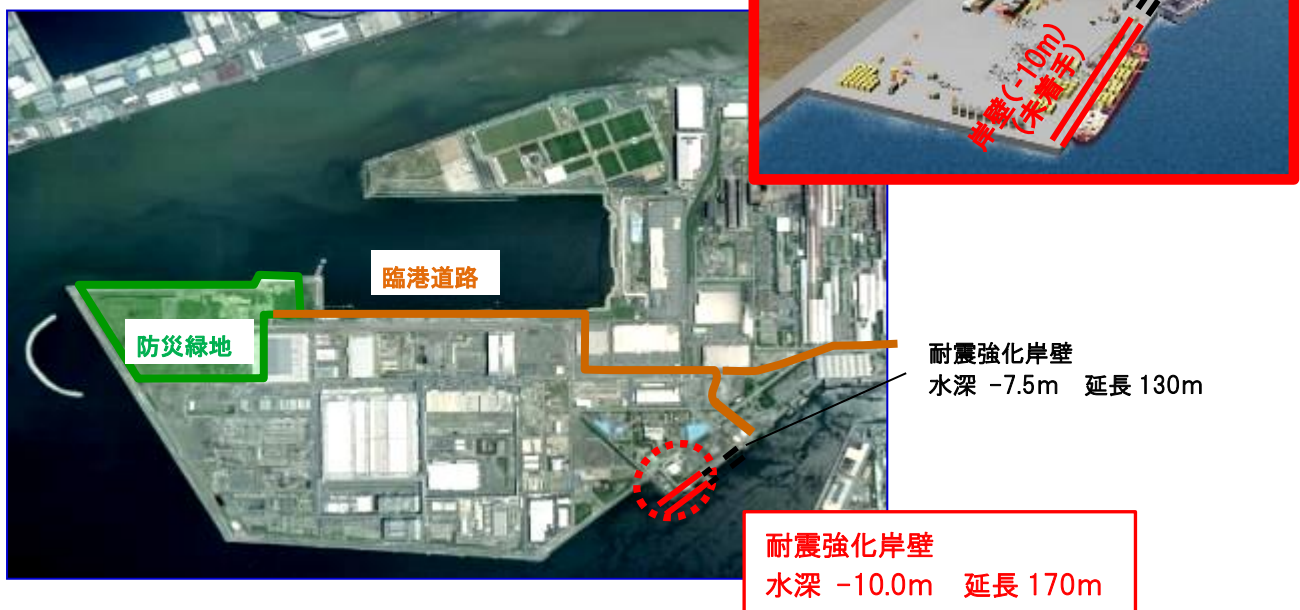
- 基幹的広域防災拠点のうち、耐震強化岸壁(-10m)の整備が未着手である。市民の安全・安心を確保するために早期整備が必要である。

耐震強化岸壁(-10m)の必要性と効果 <市民の安全・安心の確保>

- 本施設は関西で唯一の海上アクセスが可能な防災拠点であり、防災上果たす役割も特に重要である。
- 多様な船舶の着岸が可能となることで、大規模災害発生時には、多量の支援物資の輸送が可能となり、防災機能の更なる強化が図れる。
- 平常時は港湾荷役のほか、大型観光客船の発着場所として活用することで、人流・物流が生まれ、ベイエリアの活性化に寄与する。

■ 堺 2 区基幹的広域防災拠点

- 緑地 27.9ha (H24. 4 供用)
- 臨港道路 3.5km (H21.12 供用)
- 耐震強化岸壁
 - ・水深-7.5m 岸壁(延長 130m) (H24. 6 供用)
 - ・水深-10m 岸壁(延長 170m) (要望)



耐震強化岸壁
水深 -7.5m 延長 130m

耐震強化岸壁
水深 -10.0m 延長 170m

堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点

○救援物資の中継・分配機能

被災地域外から被災地域内への救援物資の中継輸送・集積・荷さばき・分配等、各種交通基盤のネットワークと連携した救援物資の中継分配機能

○広域支援部隊の集結地・キャンプ機能

全国から集結する広域支援部隊や救護班、国内外からのNPO・ボランティア等、活動要員の一次集結、野営、連絡等ができるベースキャンプ機能

○応急復旧用資機材の備蓄機能

当該広域防災拠点の応急復旧用資機材等の備蓄機能

○海上輸送支援機能

海上を利用した緊急支援物資や人員の搬入・搬出ができる耐震強化岸壁を活用した救援物資等の海上輸送支援機能

○災害医療支援機能

臨時ヘリポートを活用し、災害拠点病院などと連携した災害時医療の補完・支援機能

《安全・安心の確保》

耐震強化岸壁（-10m）の整備により、災害時に十分な緊急物資を海上輸送する機能を果たすことで、防災緑地の機能が最大限に発揮され、防災機能が向上する。

(参考) 近年の災害時における緊急支援物資等の輸送の例（大型輸送船等の使用）

熊本地震



海上自衛隊の輸送艦による輸送

東日本大震災



内航フェリーを活用した輸送

耐震強化岸壁の平常時利用によるベイエリアの活性化

○大阪湾や瀬戸内海等との結節性を活かし、クルーズ・遊覧船などを誘致し、海辺の交流拠点の形成を図る。

○物流機能の強化等により、産業活性化を図る。



【本件に関する連絡先】

建築都市局 臨海整備課長 福知 正高 (TEL : 072-228-8033)